
fallen leaves

kasic

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

f a l l e n l e a v e s

【Nコード】

N 0 9 7 3 X

【作者名】

k a s i c

【あらすじ】

夏休みの最終日に親友・有紗が亡くなった。

当初は飛び降り自殺と判断されたものの不可解な点が多いことなどから、記憶障害を持つまきに有紗の殺人容疑がかかった！

まきは事件の真相を知るため、そしてその日の記憶を取り戻すため、自力での調査に乗り出す。

prologue

八月二十六日。

夏休み最後の日に、私の友人・有紗が団地の五階から転落死した。その団地は私と彼女の住む町営団地だった。

夏休み明け前後という学生の自殺が多発する時期でもあったため、警察はすぐに自殺と判断した。

私の記憶にその日はない。

しかしどうやらケータイメールなどから彼女の親友である私は彼女の部屋に居た確率が高いとされた。

覚えていない、なんて言ったものだから、警察の目も厳しくなってきた。彼女に自殺するような動機があったとは言えないためもある。要するに、私が有紗を団地の五階の窓から転落死させたという疑いがかかった、ということだ。

私は数年前、パニック状態になった後に記憶障害を起こすことがあると診断された。

しかし私は記憶を失っているとは言えど、例のメールが届いたのはあの日の四日前だというのに、彼女にあの日部屋に来るよう誘われた記憶は一切無い。

そんな長時間の記憶が丸ごと吹っ飛ぶことなんてないし、その三時間前までははっきりと記憶があるのだ。

何より、私が有紗を殺す訳が無い。

彼女は私の幼馴染で一番の親友だった。

私は彼女が大好きだった。

約一ヶ月経った今、やっと冷静になることが出来るようになったと思う。

でも、遺書も無く不可解なことの多い親友の死を受け流すことはできない。

だから、真相と記憶を求めて彼女の死について調べようと決めたのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0973x/>

fallen leaves

2011年10月9日15時37分発行